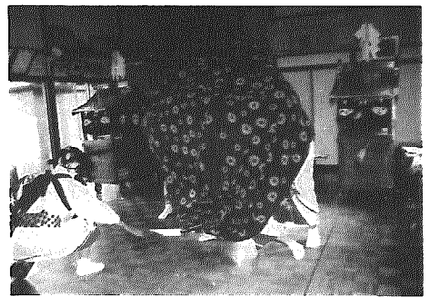
宝くじ助成金で地域おこし
～横越下地域公民館～



横越下地域公民館（館長　市村正一）では、平成七年度宝くじ助成事業（一般コミュニティー助成事業）を受け、地域おこしの一環として神楽太鼓や〆太鼓のほか法被五十着、テント一張などを購入しました。

事業費総額は二百八十万円（うち助成額二百五十万円）

七月三十日のお披露目式にはたくさんの見物人の中、地元郷土芸能保存会の神楽舞いが披露されるなど、大いに盛り上がりました。

式典では「長年の夢であった祭事用具が今日新しく購入され、さらに横越下の地域活動が活発になることを期待します」と挨拶がありました。

横中吹奏楽 県大会で銀賞受賞

横越中学吹奏楽部は、七月三十日巻町の文化会館で開催された新潟県吹奏楽コンクール下越地区大会で、見事金賞を受賞し、八月十日新潟テルサで開催の新潟県吹奏楽コンテストに出場を果たすとともに見事銀賞を獲得しました。

参加校は県内の四十六校で、日頃練習した成果を十二分に発揮した合奏が繰り広げられました。

横中でも一年から三年生まで二十九名の生徒が、桐生先生の指導のもと放課後の時間を利用し、七月以降は土、日曜日休みなく昼食持参で練習を積み重ねてきました。その努力の成果が銀賞につながりました。

桐生先生は「地区大会に向けて精一杯練習してきましたが、その上の県大会については意識して目指してきたわけではありませんが、県大会に出場し銀賞を得たことは大きな自信と期待が持てた」ということでした。

積極的なボランティア活動
～横中生徒９１名が参加～

七月二十一日、「横雲荘」と「のぎくの家」の二カ所で、横中吉田正俊校長先生を含む引率の先生方の付添いのもと、中学生がボランティア活動を行いました。

当日は小雨がぱらつく天候にもかかわらず、九十一名にものぼる参加者がありました。

活動内容は、「横雲荘」では窓拭きや車椅子・ベッド磨き。「のぎくの家」では自転車道脇の草取り、焼物のワックスがけなどを行いました。

この活動に対して施設からは「普段なかなかやろうと思ってもやる機会が無い中、このような活動をしていただき大変感謝しております」などのお礼の言葉がありました。

奉仕活動を終えた生徒達からは「結構疲れましたが奇麗になったし、人の役に立てたので良かったです」とか「昨年は参加していませんでしたが、ボランティア活動には以前から興味があり、今回参加してみて楽しかったです」という声が聞かれました。

今後の活動についても、このような機会を持ち、ボランティア活動に参加していきたいということでした。

横雲荘で車椅子を磨く中学生

横小時代の夏の思い出に
～親子レクリエーション開催～

八月一日に横越小学校でＰＴＡ主催（会長　佐藤正明）の親子レクリエーションが、一泊二日の日程で開催されました。

この活動は小学校生活の思い出づくりの場として、夏休みの期間を利用し、親子が共になって楽しめる活動を行うもので、毎年小学校六年の児童を対象にしています。

今年の活動は、日中はバスケット、水泳で汗を流し、夕食後中学校のグランドでキックベースボールといった球技大会で楽しみました。

参加者は、日中仕事の都合で出席できない方もいましたが、球技大会時には全体で二百二十一名の参加となり、おおいに盛り上がりました。

あまり馴染みのない球技だけに最初戸惑い気味であった父母も、児童達の「走れ走れ」「回れ回れ」などの元気のいい声援が飛び交う中、しだいに溶け込み童心に返って楽しんでいました。

参加された父母の方々からは「普段仕事の関係で接する時間もあまり無い中、このような場でいっしょになって楽しむことができてよかったと思うし、普段見られない子供の一面を見ることができました」という声が聞かれました。

終了後、各クラスに戻り、修学旅行で佐渡を訪れた際のビデオを親子で鑑賞し、思い出話で話が弾みました。

ＴＮＮふるさとリポーターで 渡辺元也さん出演

今年の十月からスタートするテレビ新潟の新番組「夕方ワイド新潟一番」に、本村よりふるさとリポーターとして小杉上の渡辺元也さん(59)が出演することが決定しました。

これは県内の地域情報をきめ細かく収集することにより、一層地域に密着した放送を送りたいというテレビ新潟の企画に基づき、新潟県内の百十二市町村にそれぞれ、リポーターを配置しようと幅広く募集したものです。

活動内容は主に次の三つです。①リポーターとスタジオを電話で結び、番組の中で地域の情報を二ケ月に一回くらいで電話リポートをする。②身近な話題や万が一の事故や天災などが発生した際には、テレビ新潟に連絡する。③電話リポートの他にも、各市町村のお国自慢といったコーナーへ出演する。

渡辺さんは横越大祭特設ステージの司会者としての話しぶりには定評があります。

なお、皆様の応援についてもよろしくお願いします。

菊池さん（横中一年）が全国大会に出場
全日本リトルリーグ野球大会

菊池敦嗣さんが野球を始めたのは、小学校二年生の頃からです。

軟式は、甲子園に行く確率が少ないからと硬式で頑張り、土曜と日曜の週二回、新潟市の西山公園で新潟東リトルリーグチームに入り練習に汗を流しています。

目標は甲子園に出場することという菊池さんより、全日本リトルリーグ野球大会に、県を代表して出場した際の感想が寄せられましたので紹介します。

全日本リトルリーグ野球大会

横中一年　菊池　敦嗣

六月十一日に信越大会の決勝が行われました。決勝は12対4で勝ち新潟東が全国大会へ初出場を決めました。

七月七日新潟を出て東京へ行きましたが雨で、開会式だけ行ない試合は中止になりました。

七月九日一回戦の相手は関西の和泉北（いずみきた）と対戦し、最終回逆転の2対1で勝ちました。二回戦は東京の江戸川南と対戦しましたが、7対1の大差で負けました。

この大会に出て全国レベルは高くとても強かったです。ぼくは、この経験を生かして今後、甲子園に出れるようがんばりたいです。

北信越中学校総合競技大会
走幅跳びで石附さん（横中三年）七位入賞

石附直美さんが陸上に興味をもちはじめたのは、中学校に入ってからです。

最初は、短距離選手としてがんばっていたということですが、練習で走幅跳びをやったところ、そのおもしろさに引かれ、この時から走幅跳び選手として急転換。

記録もはじめの頃はさほど伸びなかったということですが、毎日の放課後等の練習の積み重ねによりめきめき頭角を現し、次のような輝かしい実績を残しています。

未知の可能性を秘めている石附さんは、高校に入ってからも大好きな陸上を続けて行きたいと語ってくれました。

石附直美さんの主な記録

○三市中蒲陸上競技大会
（6月1日開催）
一位　5ｍ2

○第二十六回新潟地区陸上競技大会
（7月5日～6日開催）
一位　4ｍ97

○第四十一回全日本中学校通信陸上競技大会
（7月18日開催）
一位　5ｍ8

○第四十二回新潟県陸上競技大会
（7月26日～27日開催）
一位　5ｍ7

○第十六回北信越中学校総合競技大会
（8月8日開催）
七位　5ｍ20

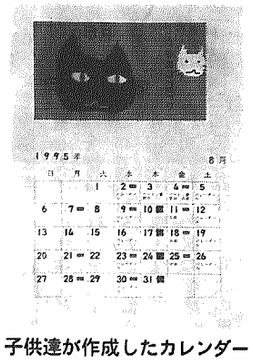
パソコン ワープロ講座

八月三日・四日の二日間、中学校コンピュータ室で「子どものパソコン入門体験」・「ワープロ講座」・「パソコン講座」の三講座を行いました。

子ども達はパソコンで八月のカレンダーを作ったり、チーム対抗のクイズで楽しみました。

子ども達は口々に「楽しい」「面白い」を連発し、すっかりパソコンにはまったようです。

この子ども達が作成したカレンダーは中央公民館に展示していますので、お越しの際にはご覧になって下さい。



子供達が作成したカレンダー

一般のワープロ・パソコン講座は初めて機械に触れる方も多く、インストラクターの説明を熱心に聞き入り、積極的に質問をしたり、指示を仰いでいたようです。